

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成27年12月10日

計画の名称	大野市における豊かで安全・安心な居住環境の整備		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	福井県大野市
計画の目標	住宅や建築物の安全性の向上を目指すとともに、地域の特性を活かした街なみを整備し、歴史や風土に調和した安全で活力ある居住環境の向上を目指す。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅・建築物の安全性の向上／住宅の耐震化率を65%（H22.3月）から85%（H26）に引き上げ ○修景助成による居住環境の向上／修景助成棟数を5カ年で10棟増加 ○街なみ環境の整備による交流人口の増加／城下町地区（中心市街地）の観光入込客数を425千人（H22.3月）から500千人（H26）に増加
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	
○住宅の耐震化率：固定資産税台帳からの推計数や事業実施状況をもとに算出する。 住宅の耐震化率（%）＝（耐震性を有する住宅数）／（人が居住している住宅数）	65%		85%	市内9ヵ所の観光地内訳 ・大野城、七間朝市、寺町、石灯籠会館、御清水、義景公園、平成大野屋全体、内山家族資料館 各イベント内訳 ・4月桜まつり・春の小京都祭、5月山菜フェスティバル、8月城まつり、10月五番夜市・三朝市、11月物産五番・食文化の祭典、2月越前大野冬物語、その他
○修景助成棟数：事業実施状況をもとに算出する。（H17～H21実績値+H22当初計画値）	10棟（うち1棟はH22実施）		20棟	
○城下町地区（中心市街地）の観光入込客数： 観光客入込数調査に従い、通常時における市内9ヵ所の観光地と、各イベント時の集客人数をもとに算出する。 城下町地区（中心市街地）の観光入込客数＝（通常時：市内9ヵ所の観光地）＋（イベント時）	425千人		500千人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	396.3百万円	A	210.1百万円	B	70.2百万円	C	116.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	29.3%
-------	---------------	----------	---	----------	---	---------	---	----------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
建築営繕課・建設整備課・市民生活課・教育委員会・消防署との協議	平成27年11月
	公表の方法
	大野市ホームページへの掲載および建築営繕課窓口での閲覧

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1	住宅	一般	大野市	直接間接	市民間	住宅・建築物安全ストック形成事業(市内全域)	公的建築物 耐震診断・プラン作成・耐震改修 木造住宅 耐震診断・プラン作成 民間建築物における吹付けアスベスト調査に要する費用の補助	大野市						19.2	
A2-1	住宅	一般	大野市	直接間接	市民間	街なみ環境整備事業(城下町地区)	通路整備費・生活環境整備費 小公園及び緑地等整備費・道路美化 下排水工事費・塀整備 測量・調査・設計費・修景助成	大野市						190.9	
合計												210.1			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
B1	公園	一般	大野市	直接	市	風致公園機能保全事業	亀山公園の公園施設にかかる機能保全	大野市						70.2	
合計												70.2			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
B1	風致公園の公園施設を機能保全および防災性の向上等の対策により、市民が安心して集う憩いの場と、災害時の避難場所としての安全性を確保する。														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
C1	住宅	一般	大野市	直接	市	公園施設安全安心対策事業	公園の老朽施設等の更新	大野市						36.5	
C2	住宅	一般	大野市	直接	市	消防ポンプ施設整備事業	地域別の消防設備収納庫の新設	大野市						27.4	
C3	住宅	一般	大野市	間接	個人	木造住宅耐震改修促進事業	木造住宅耐震改修工事補助	大野市						1.0	
C4	住宅	一般	大野市	間接	個人	ブロック塀等除却事業	ブロック塀等除却費補助	大野市						0.0	
C5	住宅	一般	大野市	直接	市	公的建築物耐震改修事業	公的建築物の耐震改修工事	大野市						42.7	
C6	住宅	一般	大野市	直接	市	亀山公園環境アセスメント事業	間伐のための生物生態調査	大野市						1.0	
C7	住宅	一般	大野市	直接	市	公園照明施設省エネ化整備事業	公園照明のLED化	大野市						7.4	
合計													116.0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C1	公園の老朽施設等の更新を行うことにより、日常における地域のコミュニティや子育て環境を整備し、地震や火災などの際に地域住民が安全に避難できる場所を確保する。	
C2	各地域の消防団が使用する設備の収納庫を整備し災害時の迅速な消火活動を促すことで、地域住民の安全を確保する。	
C3	住宅の1階部分補強耐震改修を含む木造住宅耐震改修工事費の補助を行うことにより、市内の木造住宅の耐震化を促進し、安全安心なまちづくりを推進する。	
C4	地震時に倒壊の危険性のあるブロック塀等の除却費の補助を行うことにより、ブロック塀等の倒壊による被害防止と避難経路上の安全を確保する。	
C5	公的建築物の耐震化工事を促進し、安全安心なまちづくりを推進する。	
C6	街なみのシンボルとなる公園を対象として歴史や風土に考慮した整備環境を整え、整備を促進することにより、安全で活力ある居住環境を創造する。	
C7	中心市街地に立地する都市公園に、照明の省電力化及び虫等による健康被害・景観阻害対策を行うことにより、市民及び観光客が安心して集う憩いの場を確保する。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・歴史や風土に調和した城下町地区の街なみを整備し、市民や観光客が集える安全で活力ある居住環境が実現できた。
----------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（人が居住している住宅戸数に占める耐震性を有する住宅戸数の割合）	最終目標値	85%	目標値と実績値に差が出た要因	木造住宅の耐震診断46件（計画50件）や補強プラン作成46件（計画50件）及び耐震改修工事2件（計画8件）の補助を行い木造住宅の耐震化の普及啓発を図ったが、改修工事の申込みが少なく目標値には至らなかった。
		最終実績値	69%		
	指標②（事業実施状況をもとに算出）	最終目標値	20棟	目標値と実績値に差が出た要因	城下町の街なみに調和する建築物の新築および改修の助成を15棟実施し目標値を上回った。老朽化した建築物の改修が行われ、城下町の街なみの景観が向上した。
		最終実績値	24棟		
	指標③（城下町地区の観光入込客数にイベント時の観光入込客数を加えた人数）	最終目標値	500千人	目標値と実績値に差が出た要因	城下町地区の街なみ整備事業や亀山公園周辺の老朽化した施設等の機能保全が図られ、観光客が安心できる環境を整えられたため、目標値を大きく上回った。
		最終実績値	857千人		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難所としての役割を担う公共施設の耐震診断8箇所・補強プラン3箇所及び非構造部材点検20箇所、消防ポンプ施設6箇所の整備を実施したことにより、市民や観光客が安心できる居住環境の整備が図れた。 ・民間建築物の吹付けアスベスト調査7件（計画8件）を実施した結果、アスベストの含有がないと確認され状況の把握に努めた。
--	---

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も、民間住宅の安全性確保を目指し、市民が木造住宅の耐震化への理解が深められるよう継続的に告知を行い、引き続き民間住宅の耐震化率向上に努める。